

幼児教育領域「環境」の指導内容に関する考察

— 3 法令と学生アンケートを中心として —

横井一之*

幼児教育の指導計画の3つの基準が改訂（定）され2018（平成30）年度から施行される。領域「環境」の3歳児以上の内容は12項目となる。その内容は多岐に渡り、学生にとって理解しにくくなっていると推察できる。そこで、この改訂を機に、学生が指導内容をどれほど理解しているか、保育内容「環境」指導法において留意して指導する点を探るために、学生へのアンケートを行う。今後の幼児への指導、学生への保育内容指導に役立てていきたい。

1. 幼児教育の3法令の改訂（定）について

ここで3法令とは、幼稚園教育要領（以下「教育要領」と略す）、保育所保育指針（以下「保育指針」と略す）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（以下「教育・保育要領」と略す）を指す（無藤隆（2017））。現行のものは、教育要領と保育指針は2009（平成21）年4月1日から施行され、教育・保育要領は2015（平成27）年4月1日から施行された。新しい3法令は2018（平成30）年4月1日から施行される。

2. 幼児教育の3法令共通の部分について

共通に示されているものは「資質・能力の三つの柱」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、3歳以上の「ねらい及び内容」である。「資質・能力の三つの柱」は表2-1のように3項目あり、幼児教育施設、小学校・中学校・高校を通して育てたいもので、幼児教育では非認知的能力の指導を中心とした3番目の項目が中心となる。

表2-1 資質・能力の三つの柱（新3法令共通）（無藤（2017））

三つの柱	幼児期の三つの柱	説明
知識・技能	知識及び技能の基礎	遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか
思考力・判断力・表現力等	思考力・判断力・表現力等の基礎	遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか
学びに向かう力・人間性等	学びに向かう力・人間性等	心情、意欲、態度が育つなかで、いかによりよい生活を営むか（幼児期は、この資質・能力の育成に特に重点をおく）

遊びや生活の中で、感性を働かせ、不思議さに気付いたり、試したり、いろいろな工夫を通じて育まれるものである。現行の3法令では、この3番目の「心情、意欲、態度」をねらいとしている。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、表2-2のように3歳から5歳児後半に特に伸びていく5領域

* 東海学園大学教育学部

の内容を10に整理したものである。領域は表2-3のように幼児の発達の側面から5つに分けたもので、現行3法令と同じように「健康、人間関係、環境、言葉、表現」の5領域がある。

表2-2 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（新3法令共通）（無藤（2017））

①健康な心と体、②自立心、③共同性、④道徳性・規範意識の芽生え、⑤社会生活との関わり、⑥思考力の芽生え、⑦自然との関わり・生命尊重、⑧数量・図形、文字等への関心・感覚、⑨言葉による伝え合い、⑩豊かな感性と表現
--

表2-3 5領域のねらい、内容の項目数（新3法令共通）（無藤（2017））

領域名	健康	人間関係	環境	言葉	表現
ねらいの項目数	3	3	3	3	3
内容の項目数	10	13	12	10	8

3. 学生アンケート

(1) アンケート対象者

保育内容「環境」指導法受講者（履修済者、履修中者）

① 履修済者

T 大学教育学部2年生（男子12名、女子46名）

T 大学教育学部4年生（男子3名、女子4名）

表3-1 被験者数（単位：名）

	男子	女子
人数	40	81

② 履修中者

A 大学教育学部4年生（男子0名、女子19名）

N 大学教育系学部2年生（男子25名、女子12名）

(2) アンケート実施時期

2017年6月関連教科授業中にそれぞれ15分かけて行った。

表3-2 好きな教科と性別、普通自動車免許証の有無と χ^2 検定結果

記号	項目 n=121	好き回答者数	100分率	性別	免許有無
a	国語が好き	25	21%		
b	社会が好き	10	8%		
c	算数が好き	37	31%		
d	理科が好き	15	12%		
e	生活科が好き	4	3%		
f	音楽が好き	49	41%	<<	
g	図画工作が好き	43	36%		
h	家庭科が好き	36	30%		<
i	体育が好き	72	60%	>	
j	道徳が好き	5	4%		
k	外国語活動が好き	17	14%		
l	総合的な学習が好き	9	7%		

性別 >>: 男子の方が1%水準で優位、>: 男子の方が5%水準で優位

普通自動車免許 >>: 有の方が1%水準で優位、>: 有の方が5%水準で優位

(3) 質問項目 (欄外に資料として全項目を示す)

- ① プロフィール
 - a. 学年 b. 性別 c. 大学名のイニシャル d. 好きな教科 (3つまで)
- ② 本質問

新領域「環境」の12の内容について、3問の質問を11の内容、4問の質問を1の内容に対して設けた。

(4) アンケート結果

① 被験者数

表3-1のとおり121名である。

② 好きな教科と性別、普通自動車免許証の有無のクロス集計及び χ^2 検定結果

性別により回答傾向が分かれることと、途中の設問に普通自動車免許証の有無により大きく結果がわかるものがあったので、以下の設問についてもクロス集計も合わせて行った。好きな教科についての結果は表3-2のとおりである。

③ 領域「環境」の内容の定着度とクロス集計及び χ^2 検定結果

結果は表3-3のとおりである。表に示した通り χ^2 検定を行ったが性別、普通自動車免許証の有無との間に何らかの傾向のある内容はなかった。

表3-3 領域「環境」の内容の定着度と性別、普通自動車免許証の有無のクロス集計及び χ^2 検定

番号	内容 n=121	平均点	性別	免許有無
1	(1)自然に触れて……を覚えている。	2.42		
4	(2)生活の中で、様々な物に触れ、……	2.58		
7	(3)季節により自然や人間の……	2.39		
10	(4)自然などの身近な事象に……	2.45		
13	(5)身近な動植物に親しみ……	2.25		
16	(6)日常生活の中で、我が国や……	2.60		
19	(7)身近なものを大切にする。	2.30		
22	(8)身近な物や遊具に興味を……	2.56		
25	(9)日常生活の中で数量や……	2.53		
28	(10)日常生活の中で簡単な標識……	2.58		
32	(11)日常生活に関係の深い……	2.79		
35	(12)幼稚園内外の行事において……	2.62		

性別 >>: 男子の方が1%水準で優位、>: 男子の方が5%水準で優位

普通自動車免許 >>: 有の方が1%水準で優位、>: 有の方が5%水準で優位

④ 各設問と性別、普通自動車免許証の有無のクロス集計及び χ^2 検定結果

結果は表3-4のとおりである。

(5) アンケートまとめ

- ① 表3-2は、好きと答えた教科の数と百分率を表した。好きな教科は人数が多い順に、体育72名、音楽49名、図工43名、算数37名、家庭36名である。次に、好きな教科と性別、普通自動車免許証についてクロス集計をし、検定を行った。その結果、以下のことが分かった。

表3-4 領域「環境」の各設問と性別、普通自動車免許の有無との χ^2 検定結果

番号	具体的な項目 n=121	平均点	性別	免許有無
2	(1)-1 蜘蛛の巣に水滴が付き、きらり…	2.31		
3	(1)-2 朝日をよく見る。	2.48		
5	(2)-1 いろいろな砂の性質を…	2.00		<
6	(2)-2 シーズーでどうしたら…	2.07		
8	(3)-1 最近、中学生や… 衣替え…	1.87	<<	
9	(3)-2 最高気温が出るのが最も日…	3.02		
11	(4)-1 太ったどんぐりと細いどんぐり…	2.84		
12	(4)-2 風揚げは好きですか。	2.27		
14	(5)-1 ウサギと遊ぶことができる。	2.26		
15	(5)-2 ヒマワリは好きですか。	1.82	<<	
17	(6)-1 わらべ歌は好きである。	2.50		
18	(6)-2 自分の住んでいる地域には、…	2.48	>	
20	(7)-1 余った紙をむやみに捨てない…	2.00	>>	
21	(7)-2 自分が好きなものを大切にする。	1.28		
23	(8)-1 自転車や自動車はこまめに…	2.76	>>	>
24	(8)-2 身近なものでとても丁寧に…	2.08		
26	(9)-1 お金の勘定は得意である。	2.26		
27	(9)-2 数量のことより、図形…	2.50	>	
29	(10)-1 小学校に入学する前に、ある程度	2.43		
30	(10)-2 交通標識は大体分かります。	2.11		>>
31	(10)-3 普通自動車免許の有無	1.37	>	-
33	(11)-1 この施設とはスーパーマーケット	2.53		
34	(11)-2 個の情報とはスマホやパソコン	2.63	>	
36	(12)-1 小学校から高校まで…	2.65		
37	(12)-2 ニュージーランドとオーストラリア…	2.61		

性別 >>: 男子の方が1%水準で優位、>: 男子の方が5%水準で優位
 普通自動車免許 >>: 有の方が1%水準で優位、>: 有の方が5%水準で優位

はっきりした傾向があったのは音楽が好きなものは女子に多いこと。傾向があったのは体育が好きなものは男子に多いこと、家庭科が好きなものは普通自動車免許証がないものが多いことである。

② 表3-3は新しい領域「環境」の12の内容について、「よく覚えている」と答えたら1点、「覚えている」2点、「あまり覚えていない」3点、「覚えていない」4点として求めた平均を表したものである。その平均値は2.25～2.79で、中央値2.5を境に鋭く分布している。次に、これらの12項目と性別、普通自動車免許証の有無により、何らかの関係がないかクロス集計をし χ^2 検定を行った。しかし、その傾向は見つからなかった。

③ 表3-4は新しい領域「環境」の12の内容に関連する質問について、強い肯定を1点、肯定を2点、否定を3点、強い否定を4点として平均点を求めた。肯定が強い項目は順に(7)-2自分が好きなものを大切にする、(5)-2ヒマワリは好きですか、(3)-1最近、中学生や…衣替え…で、否定が強い項目は順に(3)-2最高気温が出るのが最も日…、(4)-1太ったどんぐりと細いどんぐり…、(8)-1自転車や自動車はこまめに…である。

次に、関連する質問と性別とクロス集計して χ^2 検定を行い、女子の方が最近中学生などが衣替えをしたことをよく理解していること、女子の方がヒマワリを好きなこと、男子の方が余った紙をむやみに捨てないこと、男子の方が自転車や自動車の整備をこまめにすること、普通自動車免許証を持っているものほど交通標識が大体わかることについて、はっきりした傾向があることがわかった。また、男子の方が自分の住んでいる地域に人に誇れる伝統行事があることをよく知っている、数量より図形の方が得意である、普通自動車免許証を持っているという傾向があることが分かった。そして、普通自動車免許証を持っているものの方が自転車や自動車をこまめに整備する傾向があることが分かった。

4. 考察

新3法令の大きな変更点は、「幼児教育において育みたい3つの資質・能力」及び「幼児期の終わり

までに育てほしい姿」が示され、18歳までの教育を一貫してとらえる姿勢が示されたことと、また幼児教育においては、3歳以上の保育内容が教育要領、保育指針、教育・保育要領において統一されたことである。

「幼児教育において育みたい3つの資質・能力」は表2-1に示したとおりである。現行3法令の領域「環境」のねらいは、この中に含まれる「心情・意欲・態度」を示したものであったが、新3法令では「幼児教育で育みたい資質・能力を幼児の生活する姿から捉えたもの」と変更されている。つまり、このねらいは、幼児教育の発達段階では、3つ目の「学びに向かう能力・人間性等」が中心となり、現行3法令で捉えられていた「心情・意欲・態度」となる。よって、新3法令でも、各領域ともねらいは3つずつあり、現行と大きくは変わらなかった。

表2-2「幼児期の終わりまでに育てほしい姿10項目のうち、領域「環境」と関わりが深いと思われるのは⑤社会生活との関わり、⑥思考力の芽生え、⑦自然との関わり・生命尊重、⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、の4項目である。

学生アンケートの目的は「現行教育要領」を履修した学生がどのように捉えているかを探ることであった。表3-3には「新教育要領」で新しく登場する「(6)日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。」という内容が含まれている。この内容は今年度までの学生は履修していない。12の内容を覚えているかの回答の平均値がすべて2から3点の間に入り、この(6)の内容は、実際は履修していないにも関わらず、10番目の得点で学生には馴染んでいるといえる。新3法令には、「内容の取扱い(4)」に「文化や伝統に親しむ際には、正月や節句など我が国の伝統的な行事、国歌、唱歌、わらべうたや我が国の伝統的な遊びに親しんだり、異なる文化に触れる活動に親しんだりすることを通じて、社会とのつながりの意識や国際理解の意識の芽生えなどが養えるようにすること。」とある。この内容は保育要領(文部省(1948))の内容(12)年中行事の流れを受けついでいると思われる。領域「環境」は初めて登場した1989年には、旧領域「社会」と「自然」が合併した感が強かったが、前回の改訂(定)で「(10)日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。」が加えられ、「領域「環境」は、幼児の身近な環境を取り入れていこうとする力を養う」という意味がより深まってきたと思う。今までは、領域「環境」で扱う内容は「自然、動植物、社会の様子、数量図形、社会的道具、愛国心」と捉えていたが、これに「歴史観の芽生え」が加わったと考える。

前々回の改訂(定)(1998)までは、保育内容の中で特に領域「健康、人間関係、言葉、表現」の中に納まりきれない内容が領域「環境」に置かれていると感じていたが、新3法令では(6)の内容が加わったこともあり、領域「環境」は他の4領域を支える領域としての役目がより明確になったと思う。

今回の3法令の改訂(定)を高校教育までを視野に入れた教育全体から捉え、幼児教育の中では5領域の関係について説きその構造論まで踏み込んで分析した。本学では、幼稚園教諭免許状のみの資格を目指す学生もおり、そういう学生には教育要領を小学校学習指導要領等との関連から指導した方が理解しやすいこともある。今後も、新3法令、小学校以上の教育内容を意識しつつ、保育内容指導を進めていきたいと思う。

<引用文献>

無藤 隆 (2017)「幼稚園教育要領」無藤 隆・汐見稔幸・砂上史子『ここがポイント! 3法令ガイドブック』東京: フレーベル館

<参考文献>

文部省 (1948)「保育要領—幼児教育の手引き—」文部省 (1979)『幼稚園教育百年史』533-583. 大阪: ひかりのくに

<付録>

アンケート用紙

プロフィール (2017.6.) ←記入日を書いて下さい。

() 年生 (男 ・ 女) 大学名 (最初のひらがな) ()

好きな教科を○で囲む(国 社 算 理 生 音 図 家 体 道 英 総) (3つまで)
アンケート

幼児施設のカリキュラムを作るもとなる幼稚園教育要領等の領域「環境」の内容について、以下の質問に答えて下さい。アンケートの結果は、まとめたものを大学の研究紀要に載せます。承諾した上で、お答えください。該当するところを○で囲んで下さい。

2017.6.8.横井一之

1. 「自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。」について、
 - (1) この項目は、以前勉強したことがある。
(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)
 - (2) 蜘蛛の巣に水滴が付き、きらりと光ることを美しいと思う。
(その通りだと思う ・ そう思う ・ あまり思わない ・ 思わない)
 - (3) 朝日をよく見る。
(よく見る ・ 見る ・ あまり見ない ・ 見ない)
2. 「生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みについて興味や関心をもつ。」について、
 - (4) この項目は、以前勉強したことがある。
(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)
 - (5) いろいろな砂の性質を知って、泥団子作りが上手くいったことがある。
(よくあった ・ あった ・ あまりなかった ・ ない)
 - (6) シーソーでどうしたら自分の方に傾くか、お尻が痛くないかについて考えて遊んだ。
(よくあった ・ あった ・ あまりなかった ・ ない)
3. 「季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。」について、
 - (7) この項目は、以前勉強したことがある。
(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)
 - (8) 最近、中学生や高校生は衣替えしました。覚えていますか。
(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)
 - (9) 最高気温が出るのが最も日が長い6月ではない理由を知っている。
(人に説明できる ・ 知っている ・ あまり知らない ・ 知らない)
4. 「自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。」について、
 - (10) この項目は、以前勉強したことがある。
(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)
 - (11) 太ったどんぐりと細いどんぐりでは、どちらがコマを作るのに適しているか分かる。

(人に説明できる ・ 知っている ・ あまり知らない ・ 知らない)

(12) 凧揚げは好きですか。

(大好きである ・ 好き ・ あまり好きでない ・ 嫌い)

(理由があれば記入下さい：

)

5. 「身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。」について、(13) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(14) ウサギと遊ぶことができる。

(とても仲良し ・ 遊ぶことができる ・ あまりできない ・ できない)

(15) ヒマワリは好きですか。

(大好きである ・ 好き ・ あまり好きでない ・ 嫌い)

(理由があれば記入下さい：

)

6. 「日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。」について、

(16) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(17) わらべうたは好きである。

(大好きである ・ 好き ・ あまり好きでない ・ 嫌い)

(理由があれば記入下さい：

)

(18) 自分の住んでいる地域には、人に誇れる伝統的行事がある。

(是非紹介したい ・ ある ・ あまり知らない ・ ない)

7. 「身近なものを大切にする。」について、

(19) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(20) 余った紙などをむやみ捨てない方である。

(物を大切にする ・ だいたいそう ・ あまり大切にしない ・ しない)

(21) 自分が好きな物を大切にする。

(大切に作る ・ だいたいそう ・ あまり大切にしない ・ しない)

8. 「身近な物や遊具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ」について、

(22) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(23) 自転車や自動車はこまめに整備する。

(きちんとする ・ まあする ・ あまりしない ・ しない)

(24) 身近なものでとても丁寧にかかわり、大切に世話しているものがある。

(とても大切にしているものがある ・ ちょっとある ・ あまりない ・ ない)

9. 「日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。」について、

(25) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(26) お金の勘定は得意である。

(得意である ・ やや得意 ・ あまり得意でない ・ だめ)

(27) 数量のことより、図形の方が得意である。

(得意である ・ やや得意 ・ あまり得意でない ・ 得意でない)

10. 「日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。」について、

(28) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(29) 小学校に入学する前に、ある程度漢字は読み書きできた。

(5つぐらいは書けた ・ かなり読めた ・ あまり読めない ・ 読めない)

(30) 交通標識は大体分かりますか。

(全部分かる ・ だいたい分かる ・ あまり分からない ・ 分からない)

(31) 運転免許証の有無 普通自動車(有り・無し) 原付のみ(有り・無し)

11. 「日常生活に関係の深い情報や施設などに興味関心をもつ。」について、

(32) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(33) この施設とはスーパーマーケットや科学館のことである。

(そう思う ・ やや思う ・ あまり思わない ・ 思わない)

(34) この情報とはスマホやパソコンのことである。

(そう思う ・ やや思う ・ あまり思わない ・ 思わない)

12. 「幼稚園内外の行事において国旗に親しむ。」について、

(35) この項目は、以前勉強したことがある。

(よく覚えている ・ 覚えている ・ あまり覚えていない ・ 覚えていない)

(36) 小学校から高校までに、いろいろな国の国旗に興味を持って覚えた時がある。

(しっかり覚えた ・ そういう時があった ・ あまり覚えていない ・ 覚えてない)

(37) ニュージーランドとオーストラリアの国旗の区別ができる。

(確実に区別できる ・ だいたいできる ・ あまりできない ・ できない)

ご協力ありがとうございました。何かご意見があれば、以下にご記入下さい。